

## 先進脊椎疾患治療学寄附講座

### 1. スタッフ

特任助教 中村 孝幸  
特任助教 杉本 一樹

### 2. 寄附講座の特徴

高齢化が急速に進行する今日において、腰痛は男女とも生涯愁訴の第1位を継続しており、また変形性脊椎症や椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症、脊椎・脊髄腫瘍、脊柱変形など、多くの脊椎に関連した疾患患者数も増大の一途を辿っている。また、熊本県内の脊椎疾患の診療体制も必ずしも十分ではないのが現状である。そうした中、先進脊椎疾患治療学講座はこれら脊椎疾患の診療・研究・教育を実践する目的に令和3年4月1日に開設された。当講座のスタッフは整形外科の業務を兼任しており、以下3.～7.の内容は整形外科との協働の業務内容である。

### 3. 診療体制・診療実績

整形外科と協働で、脊椎疾患症例の外来および入院診療にあたっている。手術では内視鏡や顕微鏡を使用した低侵襲手術や最新の椎体間固定術の他、common disease としても腰部脊柱管狭窄症の除圧術など、多くの症例の診療にあたっている。

### 4. 高度先進的な医療の取組

整形外科と協働で、手術治療においては骨切り術や椎体間固定術など、多くの症例に対応しており良好な成績を得ている。他の診療施設では対応が難しい化膿性脊椎炎や脊椎・脊髄腫瘍、再手術症例などにも積極的に対応している。

### 5. 研究活動

整形外科と協働で、黄色靱帯などの臨床検体を用いた脊柱管狭窄症のメカニズムの解明を進めている。また、難病である後縦靱帯骨化症についても同様に脊柱靱帯標本の解析や動物モデルを用いた解析などにより、発症機構や病態の解明に迫る研究を展開している。これらの研究は、大学病院内の他の診療科や、院外の他の施設との共同研究などで実施している。

### 6. 医療人教育の取組

脊椎疾患の診療にあたる人材はまだ熊本県内でも十分ではないので、社会人大学院生として脊椎疾患に特化した診療に従事しつつ、脊椎に関するリサーチにも取り組んでいるものや、通常の大大学院生として脊椎に関する研究をおこなっているものの教育をおこなっている。また、脊椎・脊髄手術に関するハイボリュームセンターに国内留学として出向させ、研鑽を積まさせている。

### 7. 地域医療への貢献

県内外の多くの診療施設と連携して、ご紹介いただいた脊椎疾患症例の診療に対応するとともに、診療情報のフィードバックを行っている。